

令和5年度 事業計画

施設名 **特別養護老人ホーム印旛晴山苑**

所在地 **千葉県印西市大廻187番地**

所 管 事 業		定員	休業日
事 業 名	入所事業	90名	無
	短期入所事業	10名	無
	通所介護事業	30名	日曜日、元日
	居宅介護支援事業	なし	土曜日、日曜日

1 本年度の基本方針

- ・介護で困っている方々を一人でも減らすべく利用者数を増やし、収入増による経営基盤の安定を図る。
- ・業務の無駄をなくした効率的な施設運営と適正な職員配置により人件費削減を図る。
- ・昨年度締結した印西市、印西警察との「地域安全に関する協定」に基づき三者で協力して防犯、交通安全に努め、安心して暮らせる地域づくりを進めて地域における印旛晴山苑の存在価値を高める。

2 職員体制

事業所	職 種	常 勤	非 常 勤
管 理 者	施設長	1名	
	事務次長	1名	
特別養護老人ホーム	ケアワーカー長	1名	
	生活相談員	1名	
	介護支援専門員	1名	
	介護職員	23名	25名
	看護職員	3名	3名
	事務職員	2名	
	管理栄養士	1名	
	洗濯場職員		3名
居宅介護支援事業所	管理者（主任ケアマネ）	1名	
	ケアマネージャー		1名
通所介護事業所	管理者	1名	
	理学療法士		1名
	生活相談員	2名	
	看護職員	1名	
	介護職員	2名	8名
	運転手・他		1名
合 計		41名	42名

3-1 事業名

入所事業 / 短期入所事業

定員 入所 90名 / 短期 10名

【本事業のミッション】

本事業は、要介護状態の悪化により介護で困っている方に対して必要なサービスを提供し、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来るよう支援する。

【令和5年度を取組目標】

今年度は、介護に困っている方に必要なサービスを提供するために、近隣関係機関との連携を深め施設の稼働率向上を目指す。
業務改善に取り組み、効率的な運営を目指す。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
入所	89.3%	88.4%	87.0%	92.0%
短期	82.0%	76.4%	84.4%	90.0%

◆利用者支援サービスの充実

ユニット型施設というハード面を活用し、個別ケアの実施に取り組み、利用者個々が自宅のように自分らしい生活がおくれるよう支援する事により利用者の生活の質の向上を目指す。

◆コンプライアンス計画

差別や虐待等の不適切なケアや個人情報の漏洩等地域からの信頼を失墜させないために、虐待防止研修・身体拘束廃止研修等法令で定められている取り組みを行う。

◆人材育成と職場環境の整備

研修計画を立案し適正な人材育成を行い、各職員の目標達成に向けた取り組みを支援する。
業務を見直し効率化を検討し環境整備を行う。

◆財務基盤強化への取組

特養92%、短期入所90%の稼働率を目標にし、収入の安定化を図る。また、業務効率化に取り組み超過勤務の削減を図る。

【施設・設備整備計画】

整備内容	整備時期	金額（千円）
機械浴入替	令和5年度又は令和6年度	6,000
見守りカメラ	令和5年度又は令和6年度	544

3-2 事業名

通所介護事業

定員 30名

【本事業のミッション】

本事業は、地域において身体が不自由になり外出の機会が減少した方に対して入浴、レクリエーション等により身体機能の維持や他者とのつながりを作る事により在宅生活の維持に寄与する。

【令和 5 年度の取組目標】

安定した経営を目標に地域に根付いたデイサービスの構築を行う。
 末永く安心してご家族もご本人も在宅生活を続ける事が出来るようコミュニケーションを多く取り、介護の悩みの受け皿と感じて頂けるようアプローチする。

【重点目標】

◆目標利用率

	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
利用率	70%	74.5%	74.5%	80%

◆利用者支援サービスの充実

昨年度までは、コロナ禍でご利用者皆さんで楽しめる活動が行えない状況でいたが、今年度は予防策を順守し、外出や集団レクを復活し楽しく四季に応じたレクの取り組みを行う。また、身体機能の低下防止のため体操内容をいくつかに分けて少人数制できめ細かく実施する。

◆コンプライアンス計画

差別や虐待等の不適切なケアや個人情報の漏洩等地域からの信頼を失墜させないために、虐待防止・身体拘束廃止等法令で定められている取り組みを適正に行う。また、送迎時利用者の安全を確保するため交通ルールを順守し適正な運行を行う。

◆人材育成と職場環境の整備

研修計画を立案し適正な人材育成を行っていき、各職員の目標達成に向けた取り組みを支援する。補助金の活用や業務を見直し効率化を検討し環境整備を行う。

◆財務基盤強化への取組

80%の稼働率を目標にし、収入の安定化を図る。

【施設・設備整備計画】

整備内容	整備時期	金額（千円）
送迎車両入替（普通車1台）	令和5年5月頃	2,000

3-3 事業名

居宅介護支援事業

定員 なし

【本事業のミッション】

要介護認定を受けた方が居宅において、日常生活を営むために必要な介護サービスを適切に利用できるように、心身の状況や生活環境、本人、家族の希望にそってのケアプランを作成します。また、介護の相談受付、介護サービスの連絡、調整を行います。

【令和 5 年度 of 取組目標】

介護支援専門員が2人から1.7人となりますが、その範囲内で件数を獲得し、介護認定を受けた方が居宅において安心して日常生活がおくれるように、心身の状況や生活環境、本人、家族の希望にそってケアプランを作成し事業所や関係機関との連絡調整をします。

【重点目標】

◆目標稼働率

職員1人が受 持つ利用者 (35人)に対す る稼働率	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度見込	令和5年度目標
	71%	68%	95%	95%

◆利用者支援サービスの充実

独居世帯や、高齢世帯等支援が困難なケースもあるため、地域包括支援センターや行政等社会資源を活用し在宅生活の維持のために支援を行う。

◆コンプライアンス計画

運営基準に基づき適正な業務運営を行う。また、訪問時等交通ルールを順守し事故防止を図る。

◆人材育成と職場環境の整備

現任研修や更新研修を適切に受講するとともに、ケアマネジメントに必要な研修に適宜参加し、資質を高める。

◆財務基盤強化への取組

従事する介護職員が昨年度より減るが、利用者を担当できる範囲内（35人）で可能な限り受け持つよう取り組み、平均95%の稼働率を目指す。また、併設サービスへ利用者を紹介し稼働率アップを図る。

【施設・設備整備計画】

令和5年度は実施の計画はありません。